

製品名: 嗅覚受容体 8D1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15324**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	OR8D1
別名	OR8D1; OR8D3; Olfactory receptor 8D1; OST004; Olfactory receptor 8D3; Olfactory receptor OR11-301; Olfactory receptor-like protein JCG9
遺伝子 ID	283159.0
SwissProt ID	Q8WZ84
免疫原	抗血清はヒト OR8D1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 234-283

背景

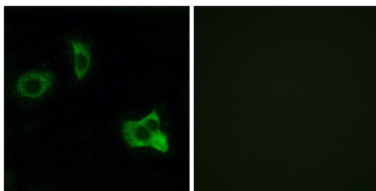
嗅覚受容体ファミリー 8 サブファミリー D メンバー 1 (OR8D1) ホモサピエンス嗅覚受容体は鼻の中で嗅覚分子と相互作用し、匂い

の知覚を引き起こす神経反応を開始します。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーのメンバーです。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7つの膜貫通ドメイン構造を共有し、匂い信号の認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大です。この生物の嗅覚受容体遺伝子とタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 嗅覚受容体 (潜在的)。味覚知覚に関与している可能性がある。類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性:舌で発現する。、

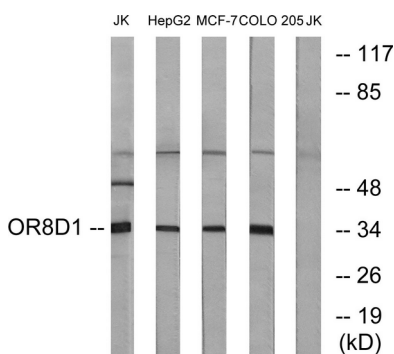
研究分野

嗅覚伝達;

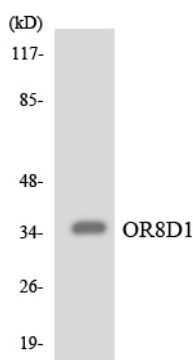
画像データ



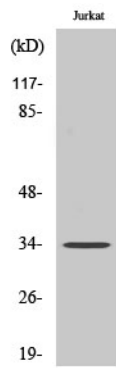
OR8D1 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



OR8D1 抗体を用いた Jurkat 細胞、HepG2 細胞、MCF-7 細胞、および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



OR8D1 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



嗅覚受容体 8D1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析